

全国から27人が釣果競う

～2008よねしろ鮎カップ

全国のアユ釣り自慢たちが腕を競う大会「2008よねしろ鮎カップ・よねしろレディーズ鮎カップ」が8月10日、米代川の鷹巣橋上流で開催され、市内外から訪れた参加者が釣果を競いました。

今年の大会には、青森、岩手県など東北を中心に男性25人、女性2人が参加。東京都からも2人が参戦しました。

参加者は、中代橋付近を基準に上流と下流に分け、午前と午後場所を替えて行われた会場で競技に臨みました。この日は真夏の太陽が照りつける厳しい暑さでしたが、どの参加者も当たりをじっくりと待ちながら、大会を楽しんでいました。



▲真夏の日差しが照りつけるなか、米代川で釣果を競う参加者たち

子どもたちが野菜の収穫体験

～子どもふれあい農園

J A 鷹巣町女性部鷹巣支部（五代儀節子支部長）が管理する「子どもふれあい農園」で8月17日、親子で参加する野菜の収穫体験が行われ、子どもたちが畑からトマトやナスなどのもぎ取りにチャレンジしました。

農園は、同女性部が、子どもたちの食育体験のためにナスやカボチャ等の野菜、スイカやメロン等の果物を植えて管理しています。普段はスーパーマーケットなどでしか野菜を手にとったことのない子どもたち。この日は、太陽をさんさんと浴びた完熟トマトや大きく育ったナスなどを自分の手で収穫し、「こんなにとれたよ」と、笑顔でお母さんたちに見せていました。



▲完熟トマトや大きいナスなどを収穫した「子どもふれあい農園」

商店街をにぎやかに

～やるべ夏祭り

市商工会青年部が企画する「やるべ夏祭り」が8月15日、旧秋北バス鷹巣営業所裏の駐車場で開催され、アマチュアバンドのライブコンサートや屋台、ビアガーデンのサービスなどで、お盆時期の鷹巣地区中心街を盛り上げました。

夏祭りは、帰省客が増えるこの時期、商店街への誘客とにぎわいづくりをねらいとして企画したものです。バンドの演奏、焼き鳥や焼きそばの屋台、ビアガーデン、かき氷などの売店を開き、買い物客などを招きいれていました。また、秋田内陸線のキャラクター「ないりっくん」の塗り絵コーナーでは、子どもたちが自由な色使いで塗り絵に挑戦、出来上がった子たちにはわた菓子プレゼントされました。



▲アマチュアバンドのライブコンサートや屋台で商店街を盛り上げた「やるべ夏祭り」

梵天を掲げて練り歩く

～米内沢三吉神社祭典「サギサギ」

通称「サギサギ」は、毎年8月15日に実施される米内沢の三吉神社のお祭りで、米内沢共勇会（庄司傑会長）が伝統を継承しております。行列は、まわしを締めた会員や子どもたちが、梵天を掲げて健康や五穀豊穡を祈願しながら地区内を巡ります。

無数の御幣で作った、重さ20キロほどの梵天を掲げ、子どもたちも色梵天を掲げて、お囃子とともに「さぎ さぎ さぎ」と詠いながら地区内の各自治会内等を練り歩きました。

午後からは、三吉神社が祀られている倉ノ山（標高314m）の頂上まで、まわし姿のまま梵天を掲げ、岩場の山道を縫って一気に運び上げ、威勢よく祠に奉納しました。



▲大きな梵天を掲げて、地区内を練り歩いた「サギサギ」

ふるさとで交流深める

～東京圏あに会親睦ゴルフ大会

東京圏あに会親睦ゴルフ大会が8月14日、秋田北空港クラシックゴルフ場で開催され、会員と地元在住者18人が参加しふるさとでのプレーを楽しみました。

ゴルフを通じ親睦と交流を深めているこの大会は、お盆の恒例行事として帰省する会員も迎える在住者も心待ちにしている大会。

この日は、スタート時から雨模様となり、プレーを途中で切り上げるなど、参加者は存分に実力を発揮できずに大会を終えました。

懇親会では、再会を喜び合い「ふるさとを思う心は同じ。いつも気持ちは繋がっている」と大いに盛り上がり、雨のゴルフもよい思い出として一層絆を深めました。



▲ゴルフを通して親睦を深めた東京圏あに会の皆さん

みんなで乗って残そう内陸線

～阿仁幸屋渡自治会の乗車促進運動

阿仁幸屋渡自治会（高関英男会長の住民が8月2日、内陸線を貸切り、比立内駅から角館駅までを往復し乗車促進運動を展開しました。

この運動は、阿仁幸屋渡自治会が自治会事業の一環で会員に参加を呼びかけたもので、会員31人が普通列車に連結されたお座敷列車で、列車の旅を楽しみ親睦を深めました。

高関会長は「自治会事業で内陸線乗車促進があり、昨年は回数券を購入した。内陸線を何かで使う、その積み重ねが乗車アップにつながる。今後またたくさん利用していきたい」とあいさつ。参加した会員たちは、約1時間の列車の旅を楽しみ、角館では温泉に入り充実した一日を過ごし家路に就きました。



▲内陸線乗車促進運動を展開した幸屋渡自治会の皆さん(内陸線角館駅前)